

播本 博子〔代表〕

おかやまエコマインドネットワーク



おかやまエコマインドネットワークは岡山県が主催する環境学習リーダー養成講座から平成11年に発足しました。地域に環境の意識(マインド)を広げることで温暖化防止活動に寄与することを旨として結成された環境ボランティア団体です。

活動は岡山県南東部を中心に環境イベントの出展や企画、幼児~大人までの様々な年代を対象とした環境出前講座や環境啓発ツール(環境かるた・環境すごろく)の開発をしました。また市民の目線にたった環境行動の提案を講演会、ワークショップやエコツアー等をとおして行っています。 会員数 43名

平成 21 年度

環境おかやま大賞受賞

「岡山発! 環境かるた五七五」



平成 19 年度作成

赤磐市(旧吉井町)の児童・生徒が作った環境川柳に当会員らが思いを込めて手書きの絵を描き、はがき大の環境かるたを作成しました。このかるたをA4判に拡大したものに背負い紐をつけてかるた鬼ごっこをして遊びながら環境意識を育てるツールとして活躍しています。

「かなあのそらはひろいけどだれのものか」

学童クラブは今までに10校で実施しました。

「岡山版環境すごろく生態系」



平成 20 年度作成

岡山に生息する貴重な生き物や植物を知ってもらい自然について考えるきっかけづくりのツールとして遊びながら環境意識を身につけ、ワークショップで生き物のつながりを考えていきます。大判すごろくは畳3畳ほどもあり、子どもたちは自分自身が駒となり止まったところのクイズに答えながら進んでいきます。平成21年度の「全国都市緑化フェア」の西大寺会場で実施、各地のイベント会場で実施しもりあがりました。

岡山市 E S D 活動

~ 中高生のレジ袋意識から ~
岡山市の E S D 活動の一環として平成20年度岡山市内約1,350名の中高生のレジ袋に関する意識調査から、何らかの働きかけがあればレジ袋は断ると答えた人が約90%を占めました。

平成21年度はこのことからレジ袋への意識付けとなるツールとして生徒に旗のデザイン・

キャッチコピーの募集を呼び掛け旗を作成しました。その旗を岡山市内のコンビニ9店舗に掲げました。若い人に環境問題に関心を持ってもらい自分にできる範囲で行動に移せることに気づきできた成果がありました。

生ゴミたい肥化活動

私たちの生活ゴミの中で大半を占めるのが生ごみで、少しの工夫で減らすことや資源化にできるのではないかと取り組みを始めました。平成20年度~21年度にかけて「エコちゃん」を使った実証実験を備前県民局と協働事業としてまとめ報告書にしました。その結果市民一人一人のたい肥化活動には限界があることに気づき、行政とともに活動することで生ゴミたい肥化や資源化が広がることを確信し、ゴミの焼却をはじめとする処理について見える化(LCA)について学習を深めていこうと活動をすすめています。

事務局

〒703-8267

岡山市中区山崎 115 - 8

行枝学方

(086) 276-1621

播本 博子 氏

おかやまエコマインドネットワーク代表。岡山県地球温暖化防止活動推進員。岡山県自然保護センターボランティア。エコロジ 東備代表。備前市在住。